



## 学生記者による コバトンNPOニュース

発行：埼玉県北部地域振興センター 〒360-0031 熊谷市末広3-9-1 ☎048(578)4572

協力：立正大学ボランティア活動推進センター・大和屋（株）

第94号 令和6年11月発行

### 特定非営利活動法人SK人権ネット(熊谷市)

特定非営利活動法人SK人権ネット（山口純子 代表理事）は、誰でも利用できる子ども食堂「熊谷なないろ食堂」を運営しています。



#### ◇SK人権ネットとは

代表理事の山口さんは、御自身の子育てが落ち着いたのを機に、何かライフワークになることはないかと考えた結果、子ども食堂の運営を始めたいと思い立ったそうです。SK人権ネットの代表理事を引き継ぎ、2017年から「熊谷なないろ食堂」の運営を開始しました。

2021年には学習スペース「てらこや」がオープンし、ボランティアによる学習支援も行われているほか、ひとり親世帯などの特に生活の支援が必要な方向けにフードドライブ・フードパントリーを開催しています。

#### ◇「熊谷なないろ食堂」・学習スペース「てらこや」について

「熊谷なないろ食堂」は、月・水・金曜日に17時から19時までの2時間開催されています。以前はピュウフェ形式でしたが、コロナ禍を機に現在はお弁当の販売を行っています。お弁当の値段は中学生以下100円、高校生以上300円、大人のみ利用であっても500円です。「確実にお腹いっぱいになるように」という思いのもと、お弁当の他に汁物がつくほか、果物やパンなどを配布することもあるそうです。

また、子ども食堂の開催日には、併せて学習スペース「てらこや」が開放されます。ここでは、小中学生を対象とし、高校生以上のボランティアが学習支援活動を行っています。（「てらこや」の利用及びボランティアへの参加は登録制になります。）17時から19時までの開催で、前半1時間は勉強をし、ご飯を食べた後は利用した部屋の掃除をしてから自由時間となります。自由時間はボードゲームや外で鬼ごっこなどをして楽しく過ごすそうです。

#### ◇利用者に対する思い

利用している子どもたちについて、山口さんは「いつかサポート側に回り次の人に繋げて行ってほしい。」とおっしゃっていました。「高校生になったらボランティアとしてここに来るね」と話す小中学生もおり、実際に、ボランティアさんの中には過去に子ども食堂を利用していた方もいらっしゃるそうです。



#### ◇取材の感想

山口さんをはじめ、スタッフさんやボランティアの方からとても温かい雰囲気を感じました。子どもの夕食にスーパーのお惣菜を買うという、忙しく働く方が抱える「なんとなく後ろめたい気持ち」に手作りの安価なお弁当で優しく寄り添う姿からは、多くの親子が訪れる理由が分かります。

また、お弁当を受け取るお母さん同士や、高校生と社会人のボランティアさん同士が楽しそうに話している様子も見受けられ、子どもたちだけでなく地域の人との交流の場にもなっているのだと思いました。

記事(過去分すべて)はこちらからご覧いただけます。  
(「くまがやねっとNPO・ボランティアコーナー」)

